



株式会社アドバンスト・メディア

2022年3月期 決算説明資料

2022年5月18日



Advanced Media, Inc.



本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。



1. 業績の概況

常務取締役 経営推進本部長
立松 克己



Advanced Media, Inc.

1-1. 決算ハイライト

BSR1（第一の成長エンジン）においてサブスクリプションサービスの売上が増大しストックビジネスの比率が高まることで粗利益率が向上し、増収増益を実現するとともに営業利益および経常利益で最高益を実現

売上高

4,461百万円
0.7%増収

- ✓ BSR1（第一の成長エンジン）
VoXT業部の増収により前年同期比3.3%増収
- ✓ BSR2（第二の成長エンジン）
ビジネス開発センターが増収
連結子会社のAMIVOICE THAI CO., LTD.（タイ王国）が減収
前期連結グループであった株式会社Rixioの売上計上が無くなり、前年同期比で減収

営業利益

823百万円
21.1%増益
(最高益)

- ✓ BSR1（第一の成長エンジン）
VoXT事業部および医療事業部の増益により、前年同期比で4.3%増益
- ✓ BSR2（第二の成長エンジン）
海外事業部の赤字縮小
前期連結グループであった株式会社Rixioの営業損失の計上が無くなったことなどから前年同期比で赤字幅が縮小

経営利益

929百万円
(最高益)

当期純利益

448百万円

- ✓ 経常利益
営業利益の増益に加え為替差益を計上したことなどにより前年同期比で増益し最高益
- ✓ 当期純利益
AudioBurst Ltd.社の株式を減損し特別損失を計上し減益

1-2. 連結損益計算書



単位：百万円

	2022年3月期		2021年3月期		対前年増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	4,461	100.0%	4,431	100.0%	30	0.7%
原価	1,114	25.0%	1,248	28.2%	-134	-10.7%
売上総利益	3,346	75.0%	3,183	71.8%	163	5.1%
販売管理費	2,523	56.6%	2,503	56.5%	20	0.8%
営業利益	823	18.4%	679	15.3%	144	21.2%
経常利益	929	20.8%	745	16.8%	184	24.7%
親会社に帰属する 当期純利益	448	10.0%	623	14.1%	-175	-28.1%

1-3. 各指標の推移

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高	3,683	4,256	4,747	4,431	4,461
(増収率)	42.7%	15.6%	11.5%	-6.7%	0.7%
売上総利益	2,656	3,016	3,256	3,183	3,346
(売上高比率)	72.1%	70.9%	68.6%	71.8%	75.0%
販売管理費	2,008	2,292	2,561	2,503	2,523
(売上高比率)	54.5%	53.9%	53.9%	56.5%	56.6%
営業利益	647	724	695	679	823
(売上高比率)	17.6%	17.0%	14.6%	15.3%	18.4%

1-4. 分野別の実績①

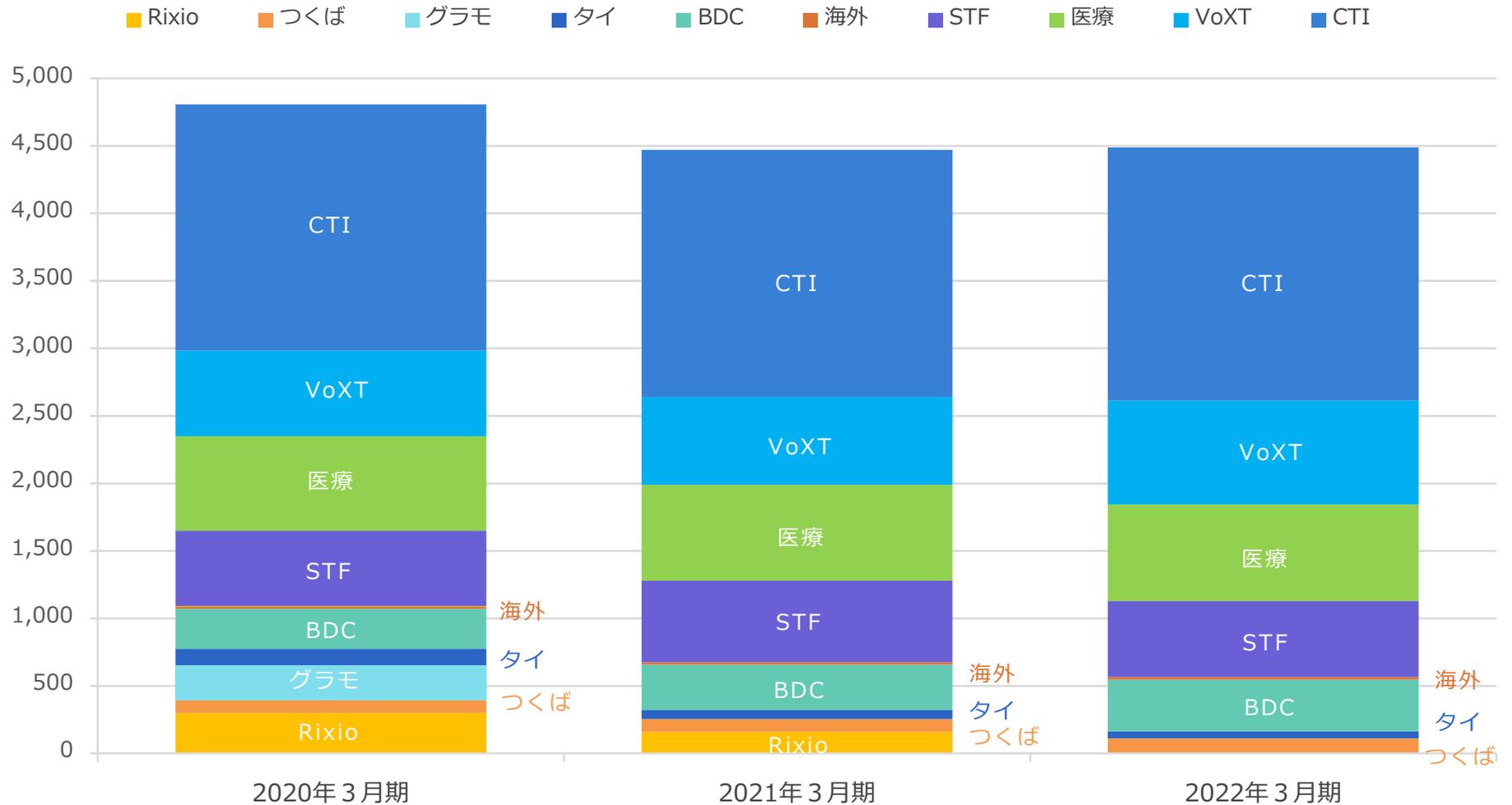
単位：百万円

		2022年3月期		2021年3月期		対前年増減		
		金額	比率	金額	比率	金額	比率	
BSR1	CTI事業部	1,876	42.0%	1,830	41.3%	46	2.5%	
	VoXT事業部	769	17.2%	651	14.7%	118	18.1%	
	医療事業部	715	16.0%	710	16.0%	5	0.7%	
	STF事業部	563	12.6%	606	13.7%	-43	-7.1%	
	合計	3,924	88.0%	3,799	85.7%	125	3.3%	
BSR2	海外事業部	19	0.4%	16	0.4%	3	18.8%	
	ビジネス開発センター	384	8.6%	336	7.6%	48	14.3%	
	連結子会社	AMIVOICE THAI	53	1.2%	67	1.5%	-14	-20.9%
		速記センターつくば	110	2.5%	96	2.2%	14	14.6%
		Rixio	—	—	159	3.6%	—	—
	合計	568	12.7%	676	15.3%	-108	-15.9%	
連結調整		-33	-0.7%	-50	-1.1%	-	-	
合計		4,461	100.0%	4,431	100.0%	30	0.7%	

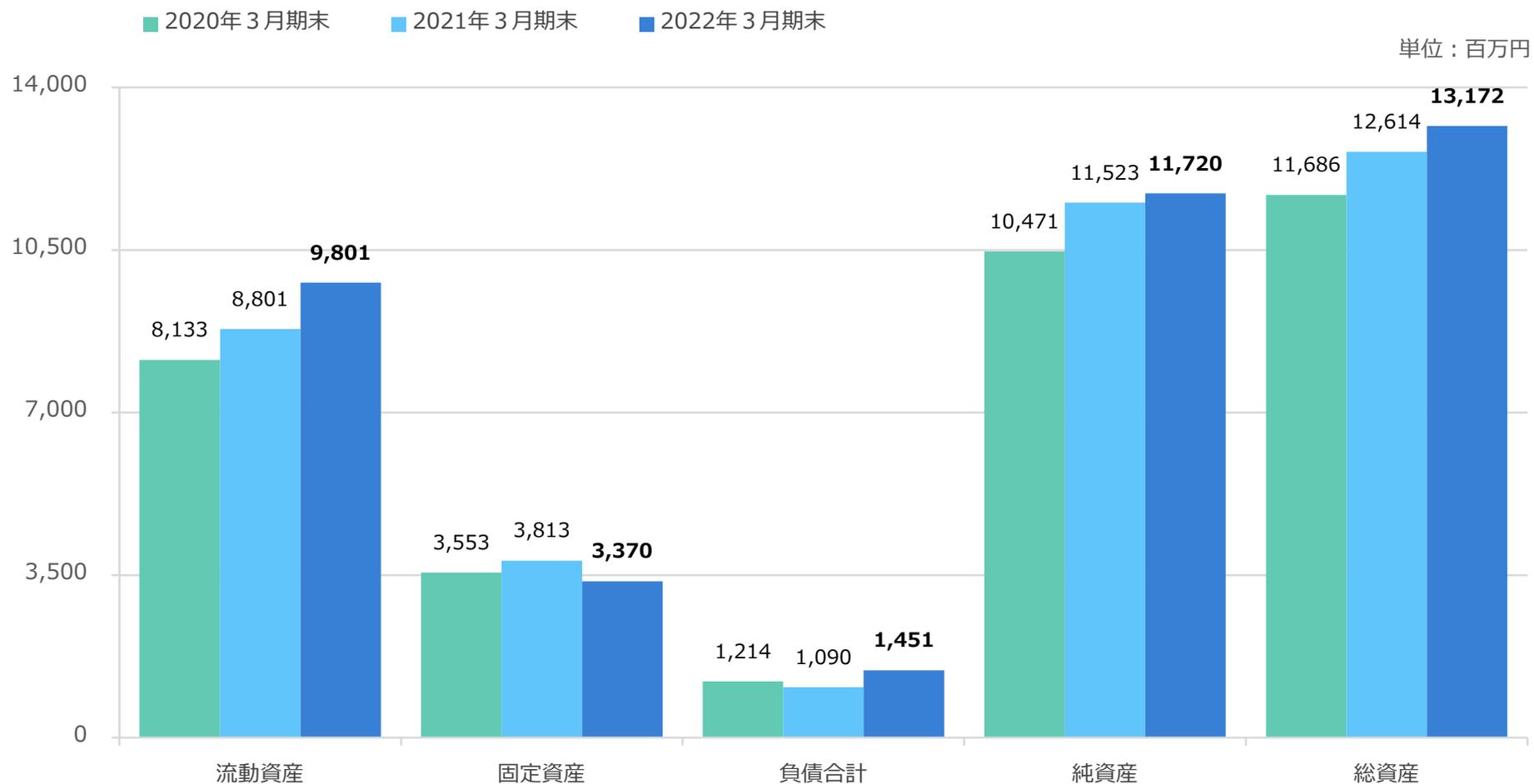
1-5. 分野別の実績②

		増収増益	増収減益	減収増益	減収減益
CTI事業部		◎			
VoXT事業部		◎			
医療事業部		◎			
STF事業部					◎
BSR 1		◎			
海外事業部		◎ (赤字縮小)			
ビジネス開発センター		◎			
連結 子会社	AMIVOICE THAI				◎
	速記センターつくば		◎		
BSR 2				◎ (赤字縮小)	
AMIグループ		◎			

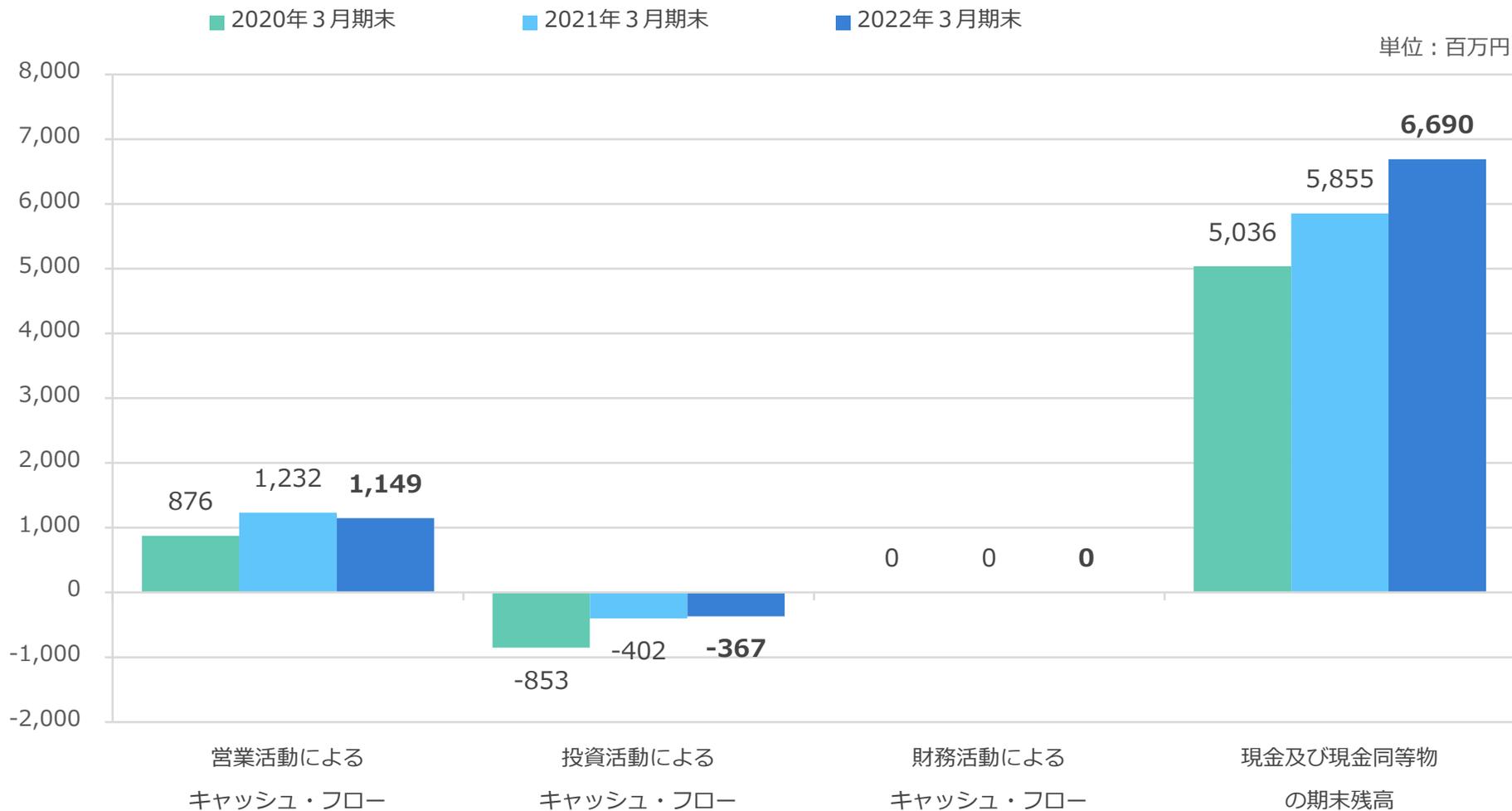
1-6. 分野別の実績③



1-7. 連結貸借対照表



1-8. キャッシュフロー計算書



1-9. 2023年3月期連結業績予想

売上高 5,000百万円
営業利益 1,000百万円

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
業績予想数値	5,000	1,000	1,000	700	38.06円
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	4,461	823	929	448	24.40円

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。



2. 事業展開の概要

代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸



Advanced Media, Inc.

2-1. 事業拡大の取り組み実績

注) 連結調整前

(BSR 1) 第一の成長エンジン



CTI事業 / VoXT事業
医療事業 / STF事業

売上高

3,924百万円
前期比 3.3%増

営業利益

920百万円
前期比 4.3%増

(BSR 2) 第二の成長エンジン



海外事業 / BDC
AMIVOICE THAI / 速記センターつくば

売上高

568百万円
前期比 15.9%減

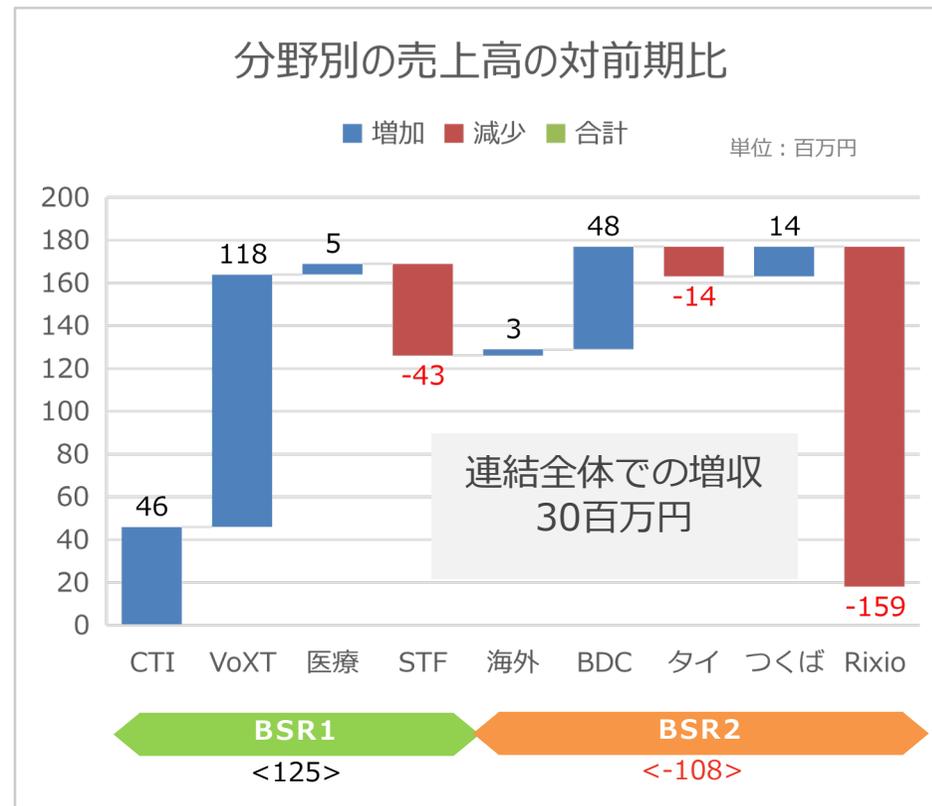
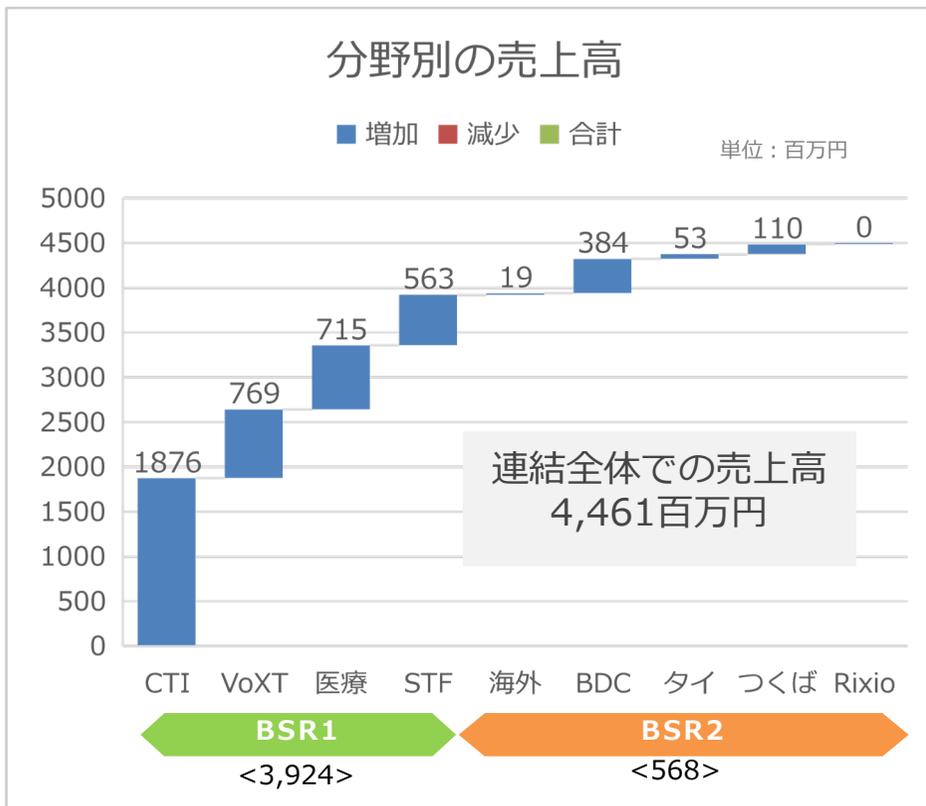
営業利益

-103百万円
赤字幅縮小

BSR1 (第一の成長エンジン) においてサブスクリプションサービスの売上が増大し
ストックビジネスの比率が高まることで粗利益率が向上
増収増益を実現するとともに営業利益および経常利益で最高益を実現

2-2. 売上高の分析

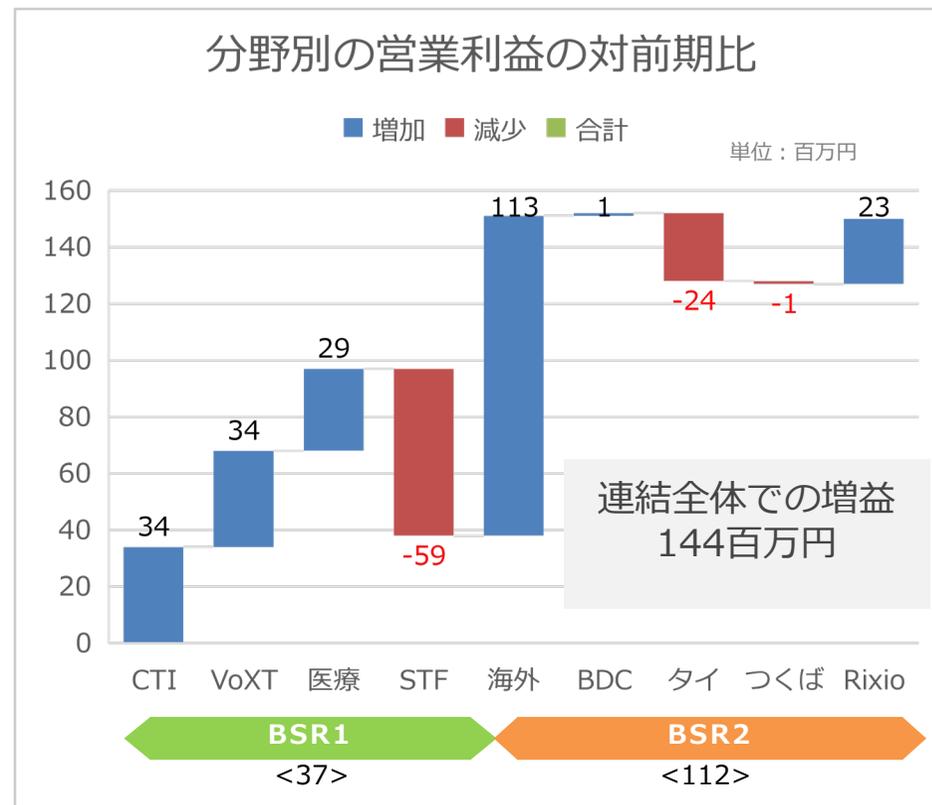
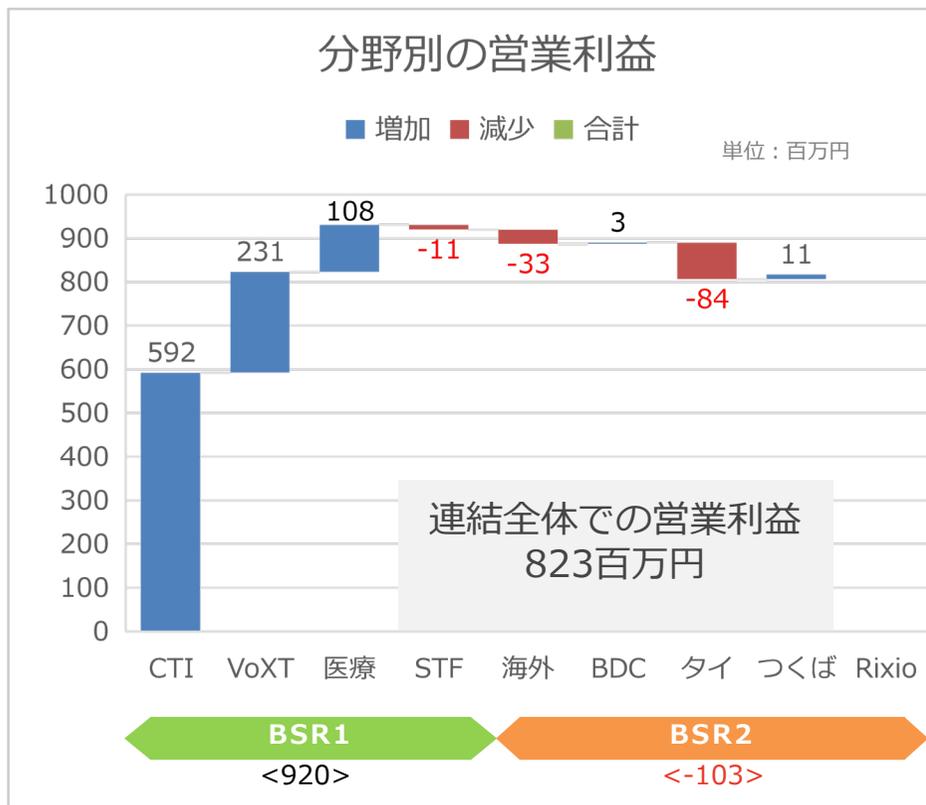
注) 連結調整前



当社グループ全体では、前期比0.7%の増収
 主にCTI事業部、VoXT業部、BDCが増収を牽引
 一方で、前期連結グループであった株式会社Rixioの売上計上が無くなる

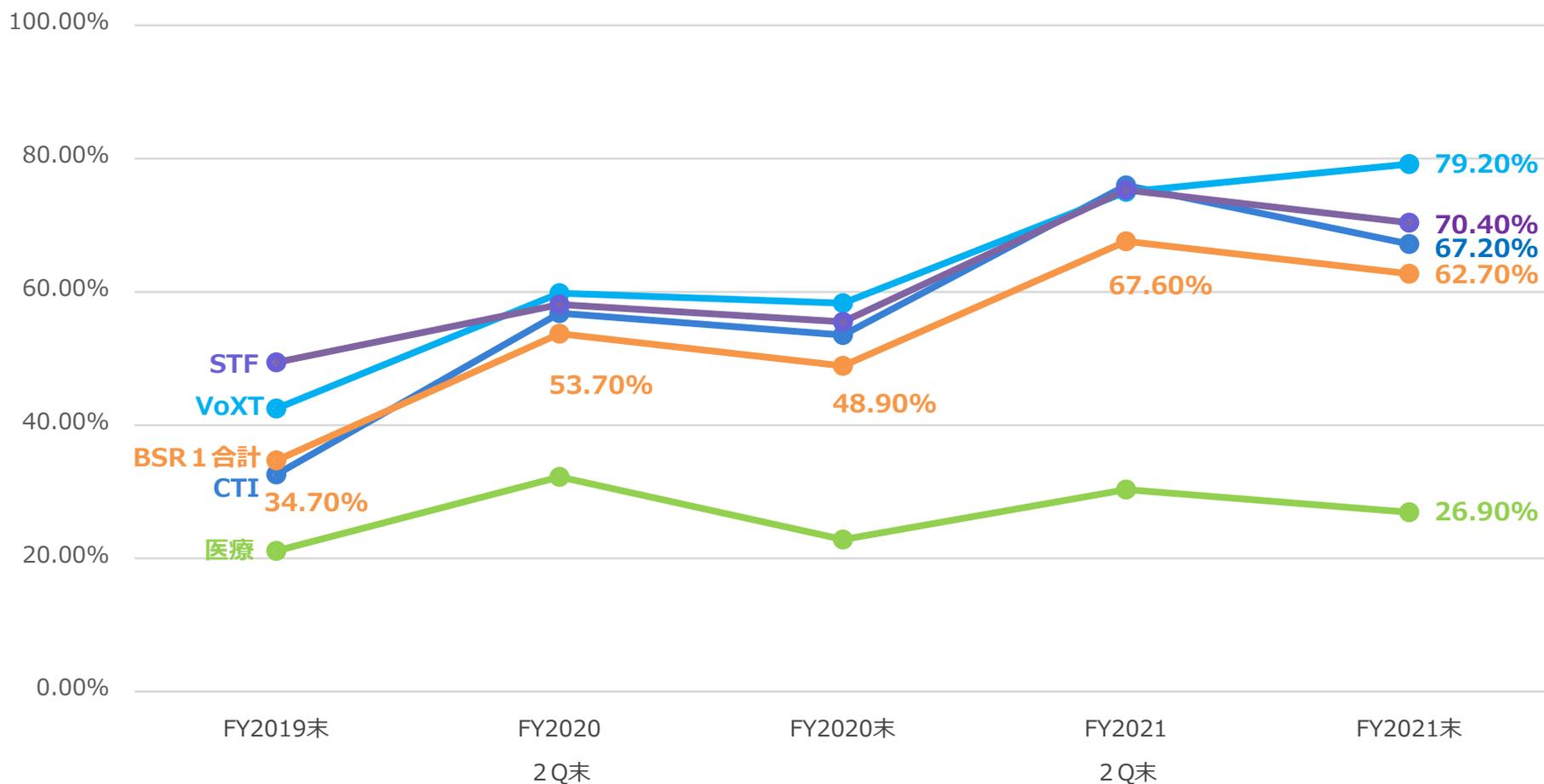
2-3. 営業利益の分析

注) 連結調整前



当社グループ全体では、前期比で21.2%増益し最高益
 主には、CTI事業、VoXT事業部、医療事業部が増益
 海外事業部で赤字幅縮小、前期連結グループであった株式会社Rixioの営業損失の計上が無くなる

2-4. ストック比率の推移 (BSR1)



2-5. 切り拓いてきた音声認識市場

※2022年3月現在

自治体・民間 累計1,082施設

- 議会・一般会議議事録作成
- 講義・講演、インタビュー録作成
- クラウド文字起こしサービス
- オンライン会議録作成

15,911施設 (46,217ライセンス)

- 放射線／病理画像レポート作成
- 電子カルテ向け音声入力
・病院 ・診療所 ・歯科クリニック
- 調剤薬局向け薬歴作成
- 医療・介護従事者向け音声入力

399社(33,682ライセンス)

- ボイス検査ソリューション
- 仕上げ検査・配筋検査・写真管理

5,685ライセンス

- ハンズフリー・アイズフリー音声操作
- ボイスピッキング
- 音声データ入力・記録
- 作業報告、点検向け音声入力

432 社 (56,120ライセンス)

- 次世代コールセンターソリューション
・オペレーター能力の向上
・リアルタイムモニタリング
・通話録音の検索と見える化
- 音声AIアシストサービス

45社

- コンシューマー向けクラウドサービス
- コンシューマー向けスタンドアローンアプリ
- 音声AIアシストサービス

1,872ユーザー

- AmiVoice Cloud Platform
- 音声認識開発キット (SDK)

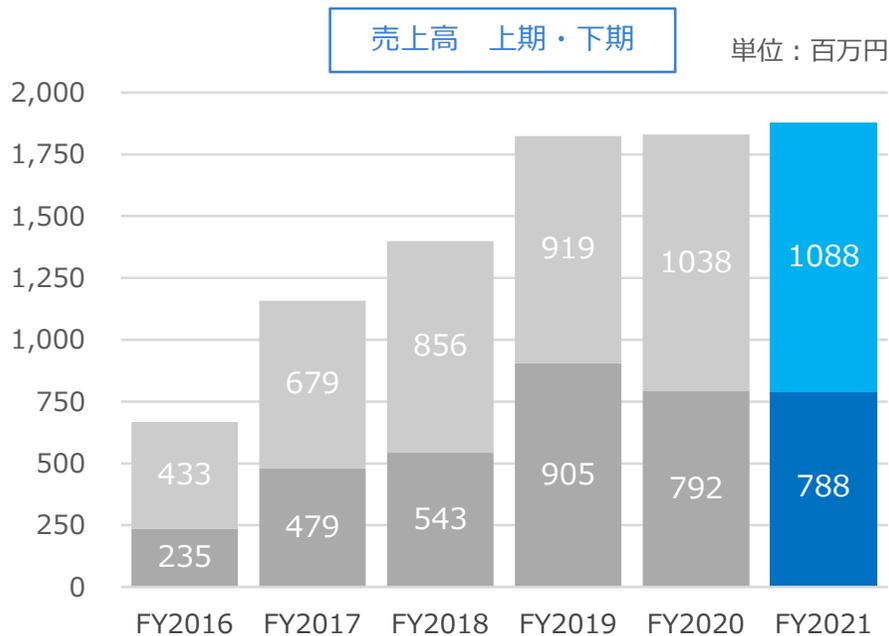
714社

- 次世代セールスソリューション
・営業能力の向上
・接客・対面の見える化
- 営業日報向け音声入力



2-6. CTI事業部 (BSR1)

- ▶ 音声認識精度の向上や在宅オペレーター支援の強化などの新機能を搭載した、コンタクトセンター向けAI音声認識ソリューションの新バージョン「**AmiVoice® Communication Suite4**」の提案・導入を進める
- ▶ トランスコスモス株式会社とともに、京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社に対して音声AIと電話による有人対応を組み合わせたハイブリッド運用において国内で初めて音声AIの英語版を導入
- ▶ 一部大型案件の獲得が翌期以降にずれ込んだものの、ストックビジネスであるサブスクリプションサービスの比率が向上し増収増益
- ▶ **ストック比率 前年同期末53.5%→今期末67.2%**



◆ AmiVoice® Communication Suite4

- #### 1 AI話題抽出機能

コンタクトセンター内の通話の中から、高頻度で話されている単語をピックアップし、一目でコンタクトセンター内の話題を把握できます。
- #### 2 コミュニケーション機能を強化

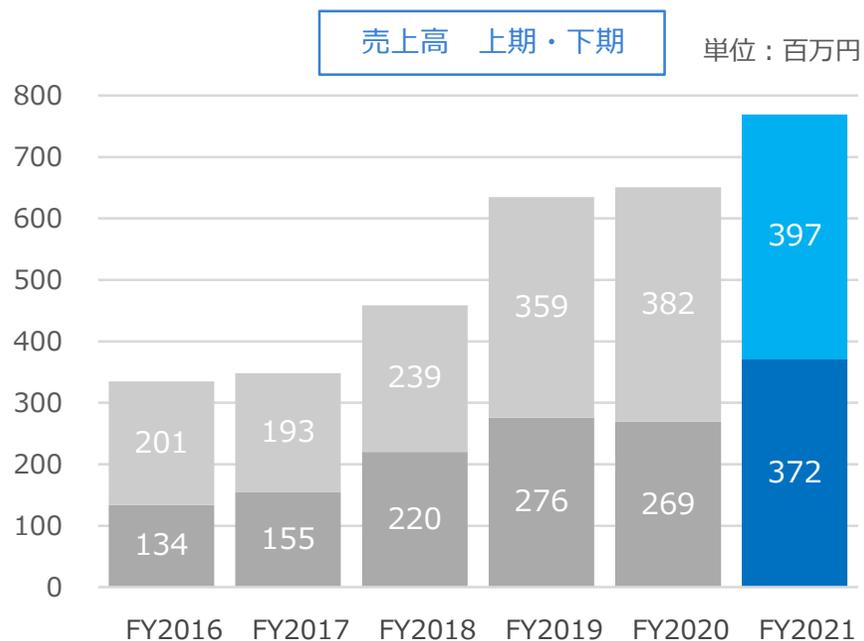
オペレーターとスーパーバイザーのチャット機能がさらにリッチに。ファイル添付機能で、遠隔地からも視覚的かつ詳細なサポートが可能です。
- #### 3 音声認識の処理効率が向上

BI-LSTMエンジンの認識処理の軽量化により、従来のLSTMエンジンに比べ20~40%処理効率が向上し、1サーバーあたりの処理件数が向上し、ハードウェア導入費用の軽減が期待できます。
- #### 4 対応ブラウザの拡充

「Microsoft Edge」「Google Chrome」「Firefox」などモダンブラウザに対応。お客様の運用に合わせ、より幅広い環境で利用可能です。

2-7. VoXT事業部（BSR1）

- ▶ AI音声認識技術**AmiVoice®**を活用した議事録作成・文字起こし支援アプリケーション/サービスの需要が増大し、販売や市場導入が好調に推移
- ▶ クラウド型議事録作成支援ツール「**CyberScribe**」の販売を開始したことで、ユーザーが利用用途に応じてスタンダード版、クラウド版を選択することなどが可能となる
- ▶ ユーザー数が増大するとともに、粗利益率が高いサブスクリプションサービスの比率が向上したことなどから、増収増益
- ▶ **ストック比率 前年同期末58.3%→今期末79.2%**



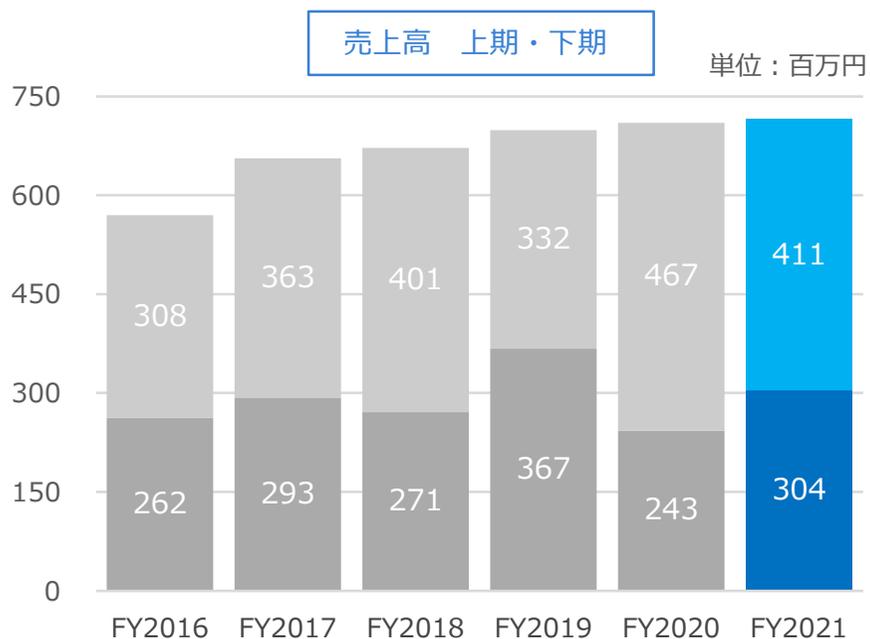
AmiVoice® ScribeAssist

新規追加

- ビジネス
- メディカル
- 議会
- 英語

2-8. 医療事業部 (BSR1)

- ▶ 前年同期においては、新型コロナウイルス感染症の影響から医療機関への営業活動が制限され増収減益となったが、今期においては営業活動の制限が緩和
- ▶ 病院における医師や看護師、医療従事者の生産性向上へのニーズの高まりなどにより、主力製品であるAI音声入力ソフト「**AmiVoice® Ex7**」シリーズの販売が好調に推移し、前年同期比で増収増益
- ▶ **ストック比率 前期末22.8%→今期末26.9%**

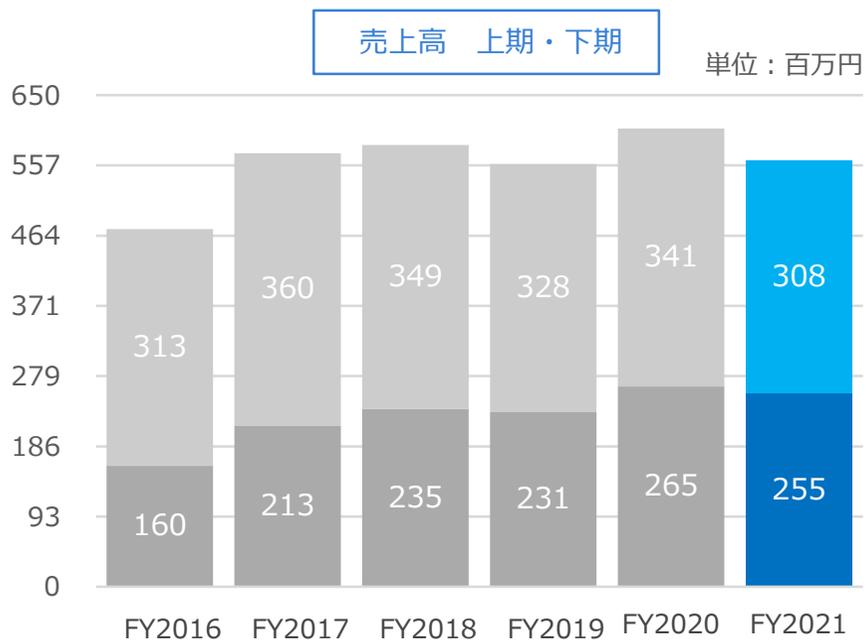


◆ AmiVoice® Ex7

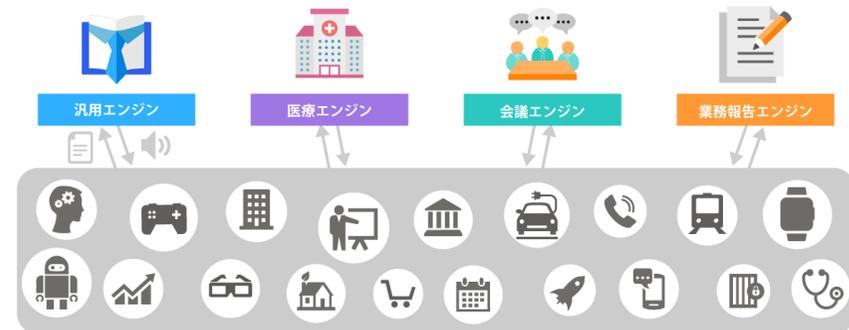


2-9. STF事業部 (BSR1)

- ▶ 音声認識APIを提供する開発プラットフォーム「**AmiVoice® Cloud Platform (ACP)**」に、発話者を特定できる「話者ダイアライゼーション」の機能を追加するなどアップデートを行い、ユーザー企業数、利用時間を増加させる
- ▶ ACP以外の新製品開発や市場への導入が計画通り進まず、前年同期比で減収減益
- ▶ **ストック比率 前期末55.5%→今期末70.4%**



◆ AmiVoice® Cloud Platform (ACP)



2-10. 海外事業部・ビジネス開発センター（BSR2）

海外事業部

- ▶ 収益改善を進め赤字幅を大幅に縮小



ビジネス開発センター

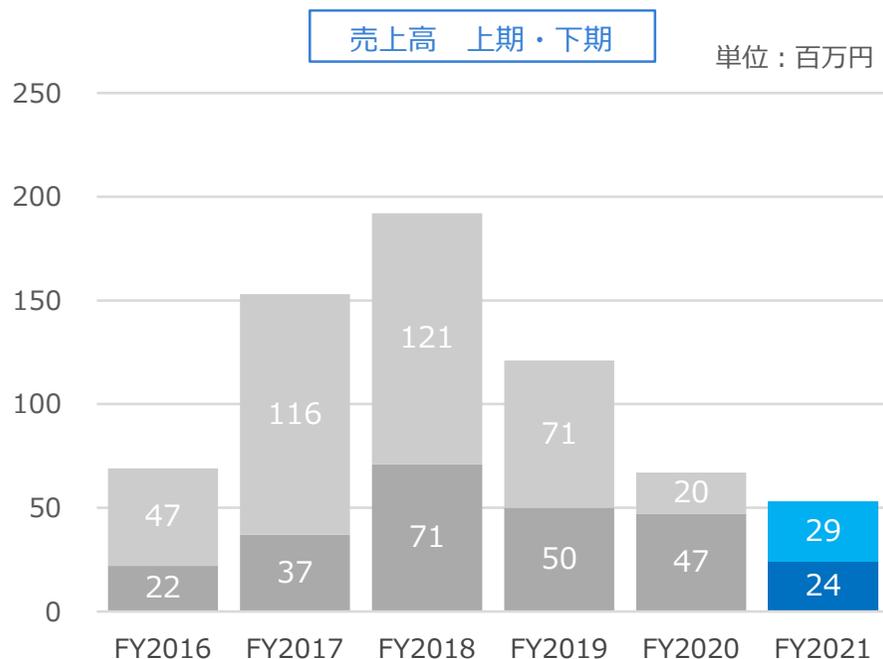
- ▶ 建設業界向け建築工程管理のプラットフォームサービス「**AmiVoice**® スーパーインスペクションプラットフォーム（SIP）」の拡販に向けて、大口ユーザーへのアプローチやパートナー連携を進めユーザー数を増加
- ▶ 同サービスを活用した人材サービス「AISH（アイッシュ）サービス」も好調に推移し、前年同期比で増収増益



2-11. 連結子会社：AMIVOICE THAI・つくば（BSR2）

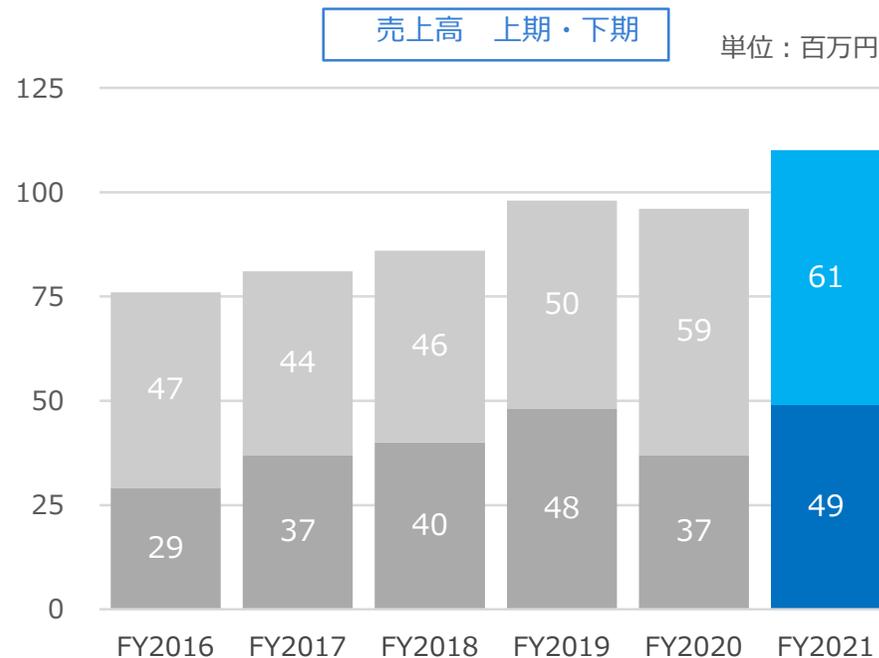
連結子会社（AMIVOICE THAI）

- ▶ 主要顧客に対する案件獲得を進めたものの、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の停滞を受け、前年同期比で減収減益



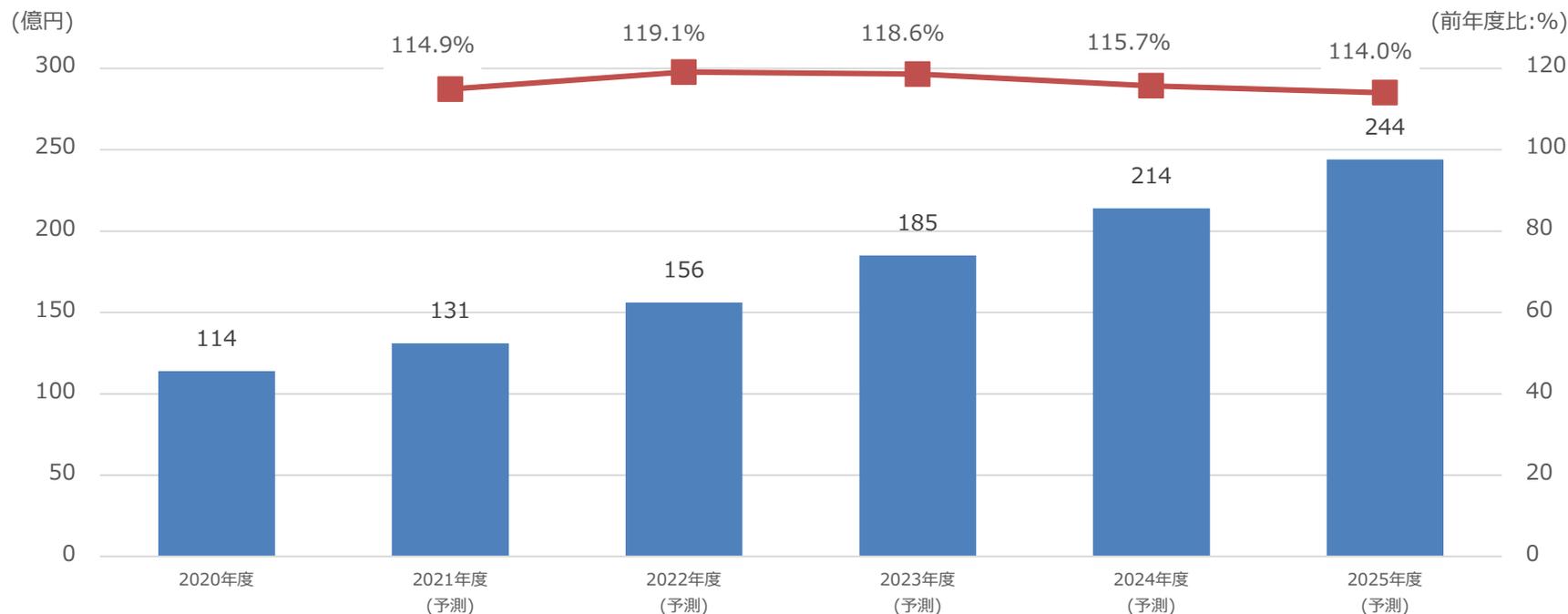
連結子会社（つくば）

- ▶ 自治体向け・裁判所向け・民間向け案件の受注獲得などを進め増収減益



音声認識市場が2025年度において 2020年度に対して約2倍の伸びを示すとの市場予測

音声認識市場予測



注1:事業者売上高ベース
注2:2021年度以降予測値

※出典:矢野経済研究所「音声認識市場に関する調査(2021年)」2022年1月13日発表

注:市場規模は、音声認識エンジン・音声認識に関連するソフトウェアおよびサービス、音声認識を利用するハードウェアを対象とし、事業者売上高ベースで算出した。

音声認識の時代の到来 ～非対面・非接触でのビジネス拡大～

- (1) 音声の文字化「声で書く」に
音声コミュニケーション「声で動かす」を付加
 - ・ テレビ会議を利用した商談/会議、在宅コンタクトセンター、オンライン診療などにおける音声認識技術の利用によるコミュニケーション支援
- (2) 顧客のデジタルトランスフォーメーション（DX）に寄与する
スピーチDX（SDX）の市場投入
 - ・ スピーチDXのプラットフォーム「AmiVoice DX Platform(ADP)」
- (3) AIアプリケーションやAIサービス向けの
音声コミュニケーションAIプラットフォームの市場投入
 - ・ AIプラットフォーム「AmiVoice AI Platform (AAP)」

AISH（アイッシュ）への道を拓いていく

AISH（アイッシュ: AI Super Humanization）とは、AIが人を助け、また、人がAIを使って能力を高める、そして、AIを超えた人の叡智などお互いの優れた点を融合し人とAIとが共存することを言う

2-14. BSR3x3・中期計画（展開から拡大へ）



5 AI連携 (AISH)

4 音声コミュニケーションAIプラットフォーム (AAP)

3 スピーチDXプラットフォーム (ADP)

2 **AmiVoice[®]** クラウドサービス (ACS) & **AmiVoice[®]** クラウドプラットフォーム (ACP) の導入・展開

1 フロービジネスの拡大 「プロダクト販売」 & 「ソリューションビジネス」

補足資料





Advanced Media, Inc.

株式会社アドバンスト・メディア

設 立	1997年12月10日
資本金	69億3,031万円
発行株式数	18,392,724株
上場市場	東京証券取引所マザーズ市場（3773）
所在地	<ul style="list-style-type: none">■ 本社 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 42F■ 大阪事業所 大阪府大阪市中央区瓦町2-3-10 瓦町中央ビル2 F■ 名古屋営業所 愛知県名古屋市東区葵1-25-1 ニッシンビル302■ 福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅南4-2-10 南近代ビル5 F
代 表	代表取締役会長兼社長 鈴木清幸
従業員数	社員数 単体：206名（平均年齢38.0歳） 連結：237名

製品・サービス内容（BSR1）



	主な製品・サービス	主な顧客	サービス内容
BSR1	CTI事業部 AmiVoice Communication Suite AmiVoice CQM Assist AmiVoice TextStream	コンタクトセンター	通話の全文リアルタイムテキスト化、管理者による複数通話同時モニタリング、感情解析などで応対品質向上を支援
	VoXT事業部 AmiVoice ScribeAssis、 ProVoXT CyberScribe	地方自治体、 各種民間企業	会議や講演の音声を自動テキスト化し、自治体・民間企業のRPA化を促進する音声認識文字起こしサービスを提供
	医療事業部 AmiVoice Ex7 AmiVoice CLx AmiVoice iNote	病院、診療所、 放射線科、調剤薬局	電子カルテや読影レポートなど、各種医療文書の作成を音声認識で効率化し、医療現場の働き方改革に貢献
	STF事業部 AmiVoice Cloud Platform AmiVoice Keyboard AmiVoice SF-CMS	製造・物流・金融・ 製薬等、各種民間企業	音声認識機能をWebサイトやアプリケーションに実装するためのAPI開発ツール

製品・サービス内容（BSR 2）



		主な製品・サービス	主な顧客	サービス内容
BSR 2	海外事業部	台湾、中国向け AmiVoice Communication Suite	アジア圏の コンタクトセンター	台湾・香港・中国を中心にコールセンター向け音声認識IVRや、中国語版リアルタイム音声認識ソリューションを提供
	ビジネス開発センター	AmiVoice スーパーインスペクションプラットフォーム	建設・不動産業	建設現場における検査結果をはじめ、建築工程管理を支援する音声認識ソリューションを提供
	AMIVOICE THAI	タイ語版 AmiVoice Communication Suite	タイ現地の コンタクトセンター	自社開発のタイ語音声認識エンジンを活かした音声認識IVRや、コンタクトセンター向けソリューションをタイ全土に提供
	速記センター つくば	書き起こし・議事録作成業務	地方自治体、裁判所	自治体を中心に会議議事録作成を受託し、音声の書き起こし業務を提供



※ 出典：ITR 「ITR Market View：AI市場 2021」音声認識市場ベンダー別売上金額シェア（2015～2021年度予測）

音声認識市場

7年連続シェアNo.1